

絆

安中市立松井田中学校 学校通信



令和6年 6月12日発行 NO.9

文責：校長

校内少年の主張発表会

6月6日（木）の6時間目に校内少年の主張発表会が行われました。今年度は久しぶりに体育館を会場にして行われました。各学級から選出された代表10名（1・2年生は各学級代表1名、3年生は各学級代表2名）の発表でしたが、全員が落ち着いた態度で堂々と発表していて、さすが各学級から選ばれた人たちだと感心しました。テーマはそれぞれでしたが、様々な経験から感じたこと、考え抜いたことを、自分の言葉で、説得力をもって表現できていました。その言葉は聞いている人に感動を与え、私たちも考えさせられることがたくさんありました。

審査の結果、学校代表となった3年生の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんは、7月3日（水）に松井田文化会館で行われる安中市大会に出場します。自分の主張にさらに磨きをかけ、学校代表としてがんばってきてほしいと思います。

題名	発表者(敬称略)	発表内容(一部抜粋)
種	1年A組 〇〇〇〇 	頭の中の当たり前を更新し、みんながみんな個性の種を認め合えばいじめや差別がなくなるのではないのでしょうか。そして、いじめの現場にあったときや、自分がいじめられていることに気づいたときは、一人で抱え込まず、迷わず相談し、言葉に出してみましよう。そして、個性あふれる種から、世界中にきれいな花がたくさん咲きますように。私の種はまだ形が決まっていません。なので、私の種は無限の形です。
100円で 私にできること	1年B組 〇〇〇〇 	決してお金だけで解決できる問題ではありませんが、今の私にすぐできることは、100円の募金をすることです。私は今、休日などに自分のお小遣いでお菓子やジュースを買っています。その100円で、世界の貧しい国の子どもたちを救えるなら私は、お菓子やジュースの100円を我慢して、募金をして少しでも世界の子供達の力になりたいです。小さいことから始められる活動があります。みなさんもできることから貧困な子供達を救いませんか？
多様性と普通	2年A組 〇〇〇〇 	自分のいいところを探してみれば、少しは開放されるのではないのでしょうか？「自分はダメ」「あの人はできてるけど私にはできない」「自分にはいいところないなって」思わないで、失敗しても落ち込まずに、前向きに考えていったほうが自分のためにもなるし、他の人にも「ポジティブだなこの人」となります。落ち込みすぎると逆に他の人に気を遣わせたり、病気にかかりやすくなったりあまり未来にはいい影響が出ません。なので、ポジティブに考えてみてはどうでしょうか？
いいところ探し	2年B組 〇〇〇〇 	良さを見つけることが習慣化されると、「いろんな良さを発見できる」ということが自分の長所となり、自信を持つことができます。「良さをみつけること」が長所であれば、人に長所をいうときに抵抗を感じにくいのではないのでしょうか。事柄の良さを追求し続けることで、自分の「良さ」や、自分らしさを手に入れることができます。みんなでも良さを探そうとする雰囲気をつくっていけば、「良さなんか無いよ」から、「どんな良さがあるかな」という、マイナスからプラスの雰囲気に変えることもできると思います。

<p>礼儀の大切さ</p>	<p>3年A組 ○○○○</p> 	<p>礼儀によって人とつながることで自分自身も変わることができ、周りにもいい影響を与えることもできます。挨拶や返事などは礼儀の基本であり、社会の中で生きていく上でとても大切なものです。礼儀を大切に、相手を尊重することができる人は人間性が高く、信頼されたり、応援してもらえるようになります。だから、僕はこれからも礼儀や相手を尊重することを大切にして様々なことに取り組んでいきたいなと思います。また、礼儀の大切さを伝えていきたいなと思いました。</p>
<p>ありがとうの国、 日本</p>	<p>3年A組 ○○○○</p> 	<p>「ありがとう」を何度使ってもなくなることはありません。コツは、感謝と寛容さをもつことだけです。言った側も言われた側も幸せになれる「ありがとう」の言葉を広めれば、日本の幸福度が上がるのではないのでしょうか。まずは身近な家族や友達に「ありがとう」を伝えることから始めませんか？そして「ありがとうの学校・松井田中学校」「ありがとうの街・安中市」「ありがとうの県・群馬県」と広げていくのです。そして『「ありがとうの国・日本、幸せの国・日本」』となることを願っています。</p>
<p>イージーモード</p>	<p>3年B組 ○○○○</p> 	<p>ここにいる人はみんな個性豊かに溢れた中学生です。まだ十数年しか生きていません。人生にイージー、ハードそんなのは存在しません。自分が覚えが悪いと言われても、鈍臭いと言われても、その人にしかできないことやその人の個性が輝くときはきっと現れると思います。しかし何も行動を起こさなければ一生出てきません。挑戦、努力、どちらも大変で、辛いことかもしれませんが、それをできるかできないかで、人は大きく変わっていくのだと私は思います。</p>
<p>充実した日々の ために</p>	<p>3年B組 ○○○○</p> 	<p>「時間を効率的に使う」ことは、「好きなこと」「やりたいこと」に使う時間を増やすことにつながるということだ。例えば家族や友人と過ごす時間、好きな音楽を聞く時間、ゲームをする時間、人それぞれ様々にあるだろう。私はそのようなことをするのが本当に大切なことであり、確保すべき時間なのではないかと思う。時間の使い方に意識を向け、工夫して生活する。そうすることによって得られる「本当に大切なこと」に使える時間を増やすことが、日常を充実させるために大切になってくるのではないだろうか。</p>
<p>音楽で 魅力ある町に</p>	<p>3年C組 ○○○○</p> 	<p>私自身が深く考え思いついた結果が、閉校し使われなくなった学校を利用して、アニメと音楽を融合したイベントを行うというものです。音楽と漫画、アニメの力を使えば安中市の発展につながる私は考えました。今の私には安中市を変え、発展につながるような力などありません。でも生まれ育った居心地の良い安中市に少しでも貢献するために今の私にできることは音楽の素晴らしさを伝えることだと思います。日々の生活の中に音楽が寄り添うことにより心豊かになるはずで。</p>
<p>桃太郎電鉄から 学んだこと</p>	<p>3年C組 ○○○○</p> 	<p>「ゲームばかりしていないで勉強をしなさい」「ゲームばかりしていると、頭が悪くなるよ」とゲームと勉強は全く関わりがありませんでしたが、そんな考え方はもう古くなってきました。勉強は面倒くさいと思われがちですが、ここに楽しいゲームという存在をいれることで、勉強が楽しくなり、覚えやすくなります。誰だって一度は勉強をしたくないと思ったことがあるでしょう。しかしゲームを織り交ぜることによって、勉強に精を出すことができます。いつかゲームが勉強の一環として登場する機会はそう遠くはないと私は思います。</p>